

やすらぎ

京都市立病院
広報誌

2020・10

秋



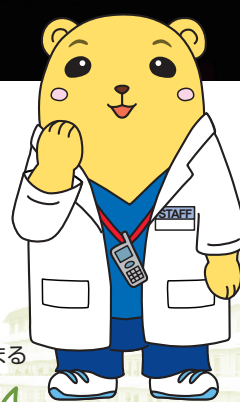
瑠璃光院(左京区)

—特集—

乳腺外科 森口部長に聞きました!

私たちが力になります!
診断から治療まで
～フルスペックで対応します～

- ◆ こころの安定を保つために大切なこと
- ◆ 安心して入院していただくために
～“入退院支援室”のご紹介～
- ◆ 臨床工学技士とダヴィンチの関わり



みぶまる

みぶりん

『第1回市民公開講座』YouTube配信のお知らせ
(テーマ) よくわかる「がん」の病気と治療
～予防から最新治療・意思決定まで～
11月中旬配信予定



地方独立行政法人 京都市立病院機構

京都市立病院

私たちが力になります!

診断から治療まで

～フルスペックで対応します～



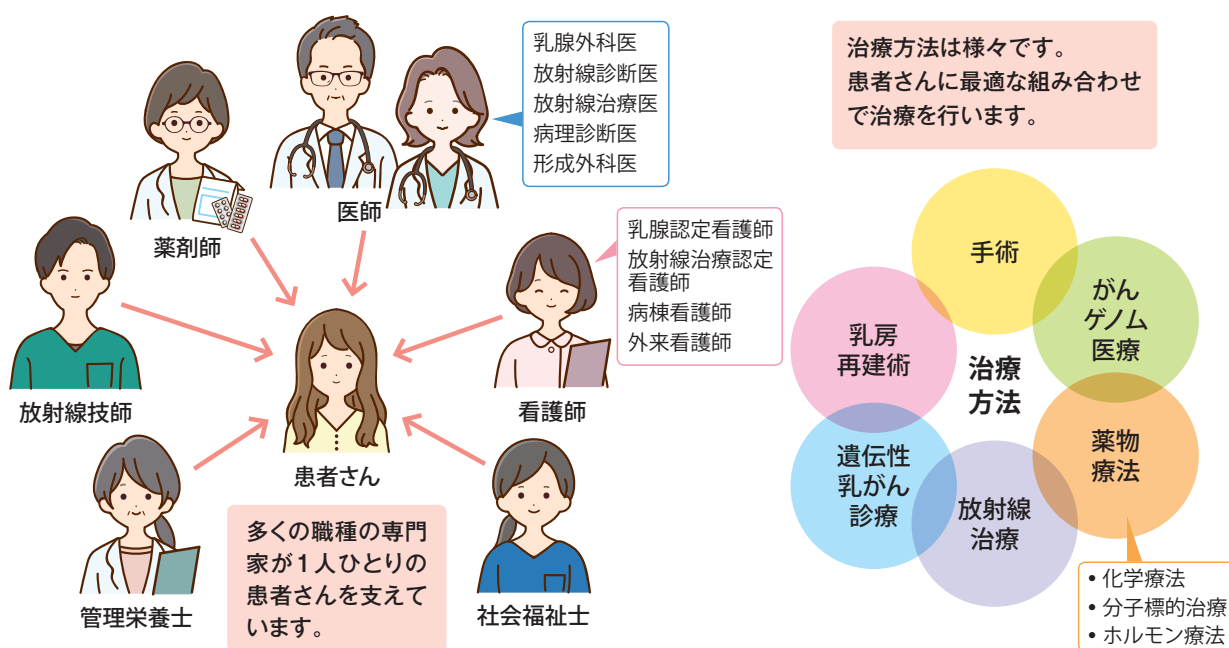
乳腺外科 部長
森口 喜生

Q 京都市立病院乳腺外科の特徴を教えてください。

A

担当医が主となり、私を含め3人の乳腺外科医(全て乳腺専門医、1人は女性医師)が連携し、患者さんの診療を“チーム”で行っています。また、乳腺外科医だけでなく、病理診断医や放射線診断医、放射線治療医と共に乳腺がんサージング※で症例毎に検討を行い、最適、最新の治療を行います。入院病棟でもカンファレンスを行っており、病棟看護師や認定看護師、薬剤師、管理栄養士、MSW など医療技術職をはじめ、多職種で連携しながら迅速に情報共有を行い、患者さんに最善の医療を提供しています。乳がんの診療は多岐にわたり長期となるため様々な局面がありますが、どの局面においても当院の専門スタッフが真摯に患者さんを支えます。

※様々な職種が集まり、患者さんにとって最善の治療を話し合う検討会議



Q 主にどのような症状の患者さんを受け入れていますか。

A

乳房のしこりや痛み、乳頭の分泌物などで直接来院されたり、医療機関から紹介で来られる方や、乳がん検診、人間ドックで要精密検査で来られる方が大部分をしめます。

また、手術の9割以上が乳がん患者さんです。乳がん患者さん以外では、乳腺症、線維腺腫、乳管内乳頭腫等の良性疾患の診療に当たっています。乳がんの治療は、手術をはじめ、放射線治療、薬物療法等、がんゲノム医療など様々な治療方法があります。治療方法、治療の順序、治療薬、乳房再建術など様々な治療方針の決定を患者さんの意思や価値観を十分に尊重したうえで行います。

森口部長はこんな人

Q: 先生の趣味を教えてください。

A: トレッキング、ロードバイクです。

Q: 乳腺外科医を志したきっかけを教えてください。

A: 大学の腫瘍免疫学の研究室で、恩師のお手伝いをする中、
乳腺外科医を志しました。



Q 患者さんの治療や患者さんを安心していただくために気を付けていることはありますか。

A

患者さんへ治療方針の説明を十分に行い、患者さんに納得いただいたうえで治療方針を決定します。患者さんへ説明するときは、看護師も同席します。治療方針の説明後も看護師等がお話をうかがい、患者さんが「わかりにくいな」、「もう少しききたい」などと思われることを確認し、安心していただけるまで医師と看護師が連携して説明を行っています。

Q 乳がん患者会・乳がんサロンがあると聞きました。

A

2011年から患者会を設け、今年で10周年を迎えました。「微力ながら互いに人を助ける」との意味を込めて“ビスケット（微助人）の会”としたのが由来です。毎月第3月曜日にサロンを開催（現在新型コロナウイルス流行により、休止中）しているほか、年3回の定例会と会報誌を発行しています。乳がんは経過観察期間が10年と、他のがんと比較しても長いのが特徴のひとつです。普段の生活等で不安に思ったらひとりで悩まずにビスケットの会やサロンへお越しください。会員さんたちにやさしく相談にのっていただけます。詳細は事務局（075-311-5311（代））までお問い合わせください。



Q 読者の皆さん・新規患者さんへ伝えたいことはありますか。

A

- ① 忙しい女性のために、水曜日に夕方の診療（17～19時）をしています。
- ② 初めて当院を受診される際、予約センターを活用するとスムーズです。自覚症状（しこりや分泌液等）がある方は紹介状がなくても予約センター（075-311-6361）で外来受診の予約ができます。
- ③ 乳がんドックや乳がん検診も実施しています。
- ④ 乳がんの症状やよくある質問は当院ホームページで詳しく掲載しています。
- ⑤ 遺伝性乳がん外来も火曜日午前中に実施しています。

詳細はホームページへ

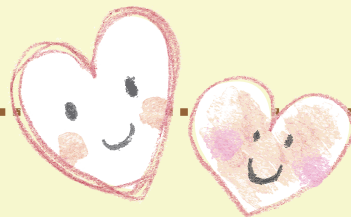


市立病院では、乳腺疾患の検査、診断、治療をトータルに行っています。どうぞ安心してお越しください。

こころの安定を保つ

「新型コロナウイルス感染症」という未知なるものとの生活が続く中、みなさまどのように過ごされているでしょうか。一口に「感染症」と言っても、その影響はからだだけでなくこころにまで及びます。感染症流行初期にはからだの問題にばかり焦点が当たっていましたが、流行長期化に伴いこころの問題としても取り上げられるようになってきました。

そこで今回は、感染症がこころに与える影響と、その影響下でどのようにこころの安定を保つかについてお話してみようと思います。



＜負の連鎖を断ち切り、こころの安定を保つ6つの方法＞をご紹介します。

その1

しっかり食べて
よく寝て！



その2

情報ばかりにとらわれず、
自分の時間を！



その3

SNS、電話などで大切な人とつながろう。

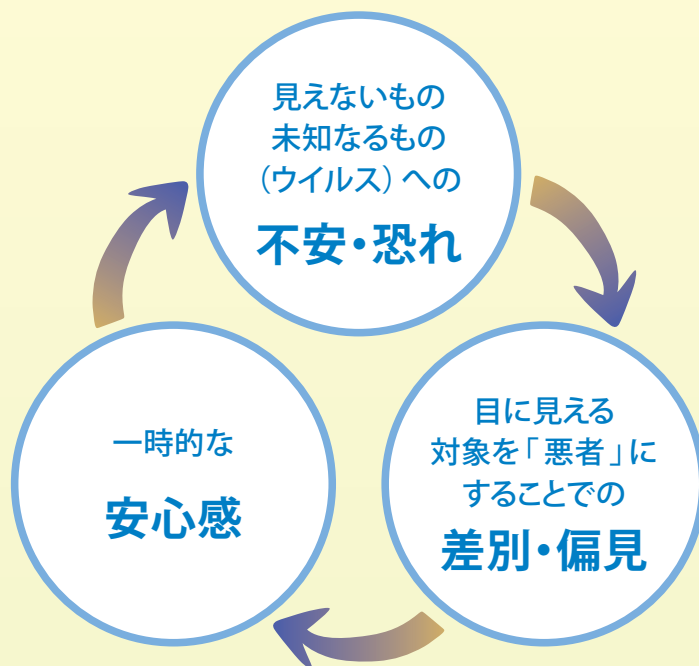


ために大切なこと

<感染症がこころに与える影響>

- 不安・恐れ—ウイルスは目に見えず、まして未知なるもの。不安や恐れがどんどん大きくなり、私たちを振り回します。
- 嫌悪・差別・偏見—見えないウイルスへの不安が強まると、私たちのこころは安心を得るための方法として、実際に目に見える対象を「悪者」（嫌悪の対象）に仕立て上げることを思いつくのです。そして、仕立て上げた「悪者」を偏見・差別することによって、一時的に不安から回避することが可能になるのです。

一時的な安心感が、不安・恐れ・嫌悪・差別・偏見をどんどん増殖させていきます。
負の連鎖を断ち切らねばなりません。



その4

自分のこころとからだに注意を向けてみよう。
ありのままを受け止めよう



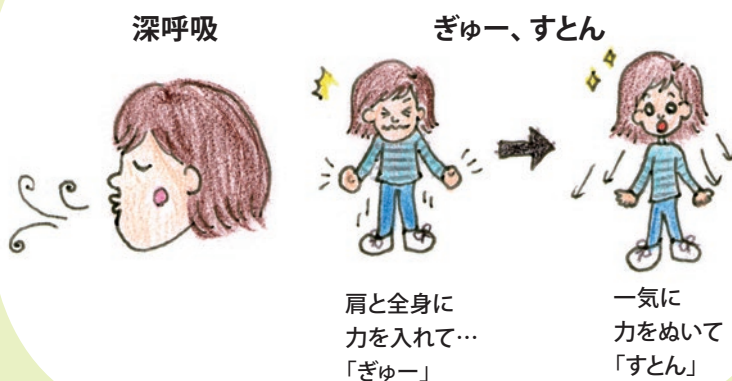
その6

相談機関、話せる人などに
相談してみましょう。



その5

力をゆるめる方法を試してみよう！



いかがでしたでしょうか？

そんなこと当たり前だと思うかもしれません。
それをあえてやるのがとっても大切なのです！

京都市立病院
臨床心理士・公認心理師 一同

<参考>

国立研究開発法人 国立成育医療研究センター こころの診療部 (2020) 新型コロナウイルスに負けないために リラクゼーション編
日本精神神経学会他 (2020) 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 流行下におけるメンタルヘルス対策指針 (第1版)
日本赤十字社 (2020) 新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう!～負のスパイラルを断ち切るために～

安心して入院していただくために ～“入退院支援室”のご紹介～



入退院支援室
森川久美室長
(看護部副部長)

2019年11月に患者支援センターを開設し、同センター内に入退院支援室を設置しました。今回は、入退院支援室の仕事内容を紹介するため、森川入退院支援室長にお話を伺いました。

Q 入退院支援室とは？

A 予定入院患者さんが安心して入院生活を送れるよう、事前に患者さんの状態を把握し、入院前から医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・医療ソーシャルワーカー等の専門職や事務職員が関わり、患者さんの支援を行います。外来等の診察後、センター内の入退院支援室にお越しいただき、入院前に必要な準備の調整や、退院後のかかりつけ医との調整などの支援を行っています。



面談の様子

Q どんな説明が受けられるの？

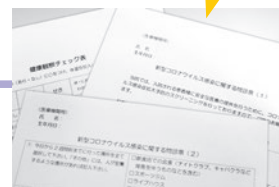
A 医師の指示に基づいて、入院・治療の計画や入院前・入院後の生活などの説明を行います。
例えば・・・■入院に必要な物品は何か、■治療に対する不安、■お薬や食事についての相談、■入院費等々です。看護師をはじめ様々な職種の職員により、患者さんが安心して入院できるよう支援しています。



事前に問診票、健康観察チェック表に記載していただきます。

Q 新型コロナウイルス感染の不安などから入院するのが不安・・・

A 予定入院患者さんには、事前に2週間程度の経過観察期間を経て入院していただいています。入院前に健康観察チェック表の記載や問診を行うほか、必要に応じてPCR検査を実施して、感染管理に努めています。



検温、消毒等の実施

また、新型コロナウイルス感染症以外にも初めての入院等で不安に思うことがありましたら、患者支援センターにお越しください。患者さんからは、「説明を聞いたが、手術を受けるのが不安・・・」、「治療費ってどれくらいかかりますか」などの相談が寄せられています。患者さんの思いを共有し、必要に応じて専門職種が関わることで解決につなげています。



その他

入院時のセットレンタルも実施しています。セットレンタルとは、患者さんが入院中に必要な『タオル、寝巻き、紙オムツ、日用品』等を安価にレンタルでご利用いただくことができるサービスです。

ご希望または興味のある方は
本館1階セットレンタル受付まで！





臨床工学技士 と ダヴィンチ の関わり

(手術支援ロボット)

当院では「医療」×「工学」の知識を身に着けた「臨床工学技士」が安全な手術の実施に寄与しています。今回、その臨床工学技士の仕事の一部を紹介します。

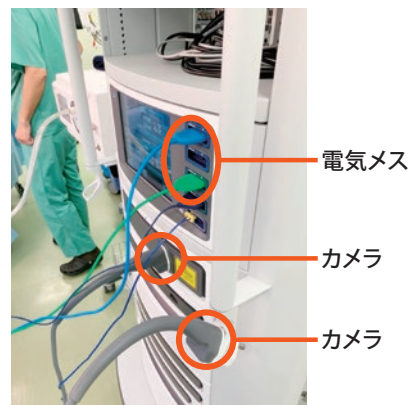
我々の仕事は前日の夜から始まります。

まずは手術支援ロボット(ダヴィンチ)やロボットと連動して作動させる機械の配線を行い、動作点検を実施します。

多職種で相談し作成した機械の配置図を基に、「機械が正確に連動すること」、「スタッフの動線に配線がなくスムーズに動けるようにすること」などに気を付けながらロボットや医療機器をケーブルで接続していきます。

ダヴィンチ手術の配線で特に注意しなければならないのが、電源コンセントの容量です。

手術室には過大な電流を感知すると火災や感電を防止するための安全機構として、電源を遮断するブレーカーのような機能が備わっています。もちろん一般家庭と比べるとその容量は大変多く、ほとんどの手術の場合ブレーカーが作動する事はありませんが、ダヴィンチ程の大型医療機器となれば話は別です。安全機構とはいえ「停電しないはずの病院でロボット手術中に停電が発生」という事が起こらないように臨床工学技士は使用する医療機器1つ1つの電流をモニタリングしながら配線を行っていきます。



手術が始まれば臨床工学技士がロボットを操作し、患者さんとロボットを安全にロールイン(結合)します。

ロボットに患者さんの位置を正確に把握させるために、ロボットアームの位置、角度、間隔、高さを微調整する、最も集中力を要する瞬間です。当院では模範手術の見学講習と操作トレーニングを受けた臨床工学技士が操作を担当します。

ドッキングが完了すれば、いよいよ医師がコントローラーを操作して手術を行い、臨床工学技士は電気メスなどの周辺機器を準備します。手術中、万が一機械トラブルが発生した場合には即座に対応できるよう準備しています。

手術が終われば再びロボットを操作し、患者さんからロボットを安全にロールアウト(離断)します。術中にわずかでも異常を確認した場合は、他のスタッフや医療機器メーカーと情報共有し原因を追究、以降の手術に活かします。



臨床工学技士は、医療機器のプロフェッショナルとして安全で良質な医療を患者さんに提供しています。

～WEB配信によるイベント・取組のご案内～

今回初!『第1回市民公開講座』YouTube配信のお知らせ

当院の理念「市民のいのちと健康を守ります」を目的に、今回、市民公開講座をYouTube配信します。

(テーマ)よくわかる「がん」の病気と治療～予防から最新治療・意思決定まで～

11月中旬配信予定 ※ホームページにてご確認ください。

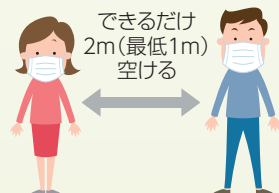
～その他イベント・取組のご案内～

現在、新型コロナウイルス感染症発生症感染防止のため、院内主催のイベント等を中止しています。再開等の情報は決まり次第、京都市立病院ホームページにて公表しますので、ご確認をお願いいたします。また、糖尿病教室においては、WEBにより、教材を市立病院ホームページにおいて公開しています。

**新型コロナウイルス
感染症予防!**
1人1人ができることを
着実に実行!



① 身体的距離の確保



② マスクの着用



③ 手洗い(手指消毒)



④ 免疫力アップ



十分な睡眠



バランスよい食事



適度な運動

敷地内全面禁煙



路上喫煙はやめましょう!

喫煙はマナーを守って決められた場所です。



京都市立病院

〒604-8845 京都市中京区壬生東高田町1番地の2
TEL 075-311-5311(代) FAX 075-321-6025(代)
<https://www.kch-org.jp/>

送迎バス時刻表(無料・予約不要) ※平日のみ(土日祝・年末年始は運休)

時間	京都市立病院 ～出発～	阪急西院駅 (TSUTAYA前)	JR丹波口駅 (ユニクロ前)	京都市立病院 ～到着～
8時	30	35	45	50
9時	00 30	05 35	15 45	20 50
10時	00 30	05 35	15 45	20 50
11時	00 30	05 35	15 45	20 50
12時	00 30	05 35	15 45	20 50
13時	00 30	05 35	15 45	20 50
14時	00 30	05 35	15 45	20 50
15時	00 30	05 35	15 45	20 50
16時	00 30	05 35	15 45	20 50



送迎バス バス停
京都市バス バス停

編集後記

朝晩涼しくなり、すっかり秋の雰囲気となりました。やすらぎ秋号は、特集記事には森口部長の趣味であるロードバイクの写真、それ以外は、当院の臨床心理士さんオリジナルのイラストなどを用いて、とても素敵な仕上がりとなりました。そちらにもぜひ注目してください。次回以降も、冬の感染症等について紹介できたらと思っています。

やすらぎ 2020・秋号 2020年10月6日発行

発行：京都市立病院機構 京都市立病院

〒604-8845

京都市中京区壬生東高田町1番地の2

TEL 075-311-5311

FAX 075-321-6025

